

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年06月22日

計画の名称	泉大津駅西地区における安全・安心なまちづくり（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度～平成31年度（3年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	泉大津市											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉大津駅西地区周辺において、通学路の交通安全対策に取り組み、歩行者・自転車が安全安心で快適に移動できるまちづくりを図る。</li> <li>・駅周辺を中心に、利便性の高い市街地形成のための道路整備に取り組み、魅力あるまちづくりを図る。</li> <li>・津波浸水区域である港湾地区からの避難路および緊急車両通行路確保のための道路整備に取り組み、安全なまちづくりを図る。</li> </ul>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,375	A	1,375	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初		H31末
1	安全で快適に通行できると思う市民の割合を55%（平成26年度）から58%（平成31年度）に増加させる。 市民アンケート調査により、泉大津市内の道路は安全で快適に通行できると思う市民の割合を調査する。	55%	%	58%
2	良好な住環境が整っていると感じている市民の割合を71%（平成26年度）から77%（平成31年度）に増加させる。 市民アンケート調査により、良好な住環境が整っていると感じている市民の割合を調査する。	71%	%	77%
3	防災対策が充実し安心だと感じている市民の割合を58%（平成26年度）から67%（平成31年度）に増加させる。 市民アンケート調査により、防災対策が充実し安心だと感じている市民の割合を調査する。	58%	%	67%
4	港湾地区からの移動時間を14分から10分に短縮させる。 港湾地区から泉大津駅までの走行時間を、整備前と整備後に計測する。	14分	分	10分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
計画の成果目標（定量的指標）・泉大津市通学路交通安全プログラムに基づく要対策箇所の安全性向上を図る。第4次泉大津市総合計画												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	S街路	改築	(都)泉大津駅前通り線	道路改築 L=0.20km	泉大津市						1,338	-	
	平成31年度から都市再生整備計画事業に移行																		
	A01-002	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	交安	(市)泉大津駅臨海連絡線	歩行者通行空間測量設計 L=0.12km	泉大津市						2	-	
	A01-003	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	交安	(市)小松原通線	歩行者通行空間測量設計 L=0.20km	泉大津市						2	-	
	A01-004	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	交安	(市)松之浜大津川線	歩行者通行空間測量設計 L=0.35km	泉大津市						2	-	
	A01-005	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	交安	(市)泉大津駅臨海連絡線	歩行者通行空間整備 L=0.12km	泉大津市						4	-	
	A01-006	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	交安	(市)小松原通線	歩行者通行空間整備 L=0.20km	泉大津市						15	-	
	A01-007	道路	一般	泉大津市	直接	泉大津市	市町村道	交安	(市)松之浜大津川線	歩行者通行空間整備 L=0.35km	泉大津市						12	-	

**A 基幹事業**

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況				
												H29	H30	H31	R02	R03							
																	1,375						

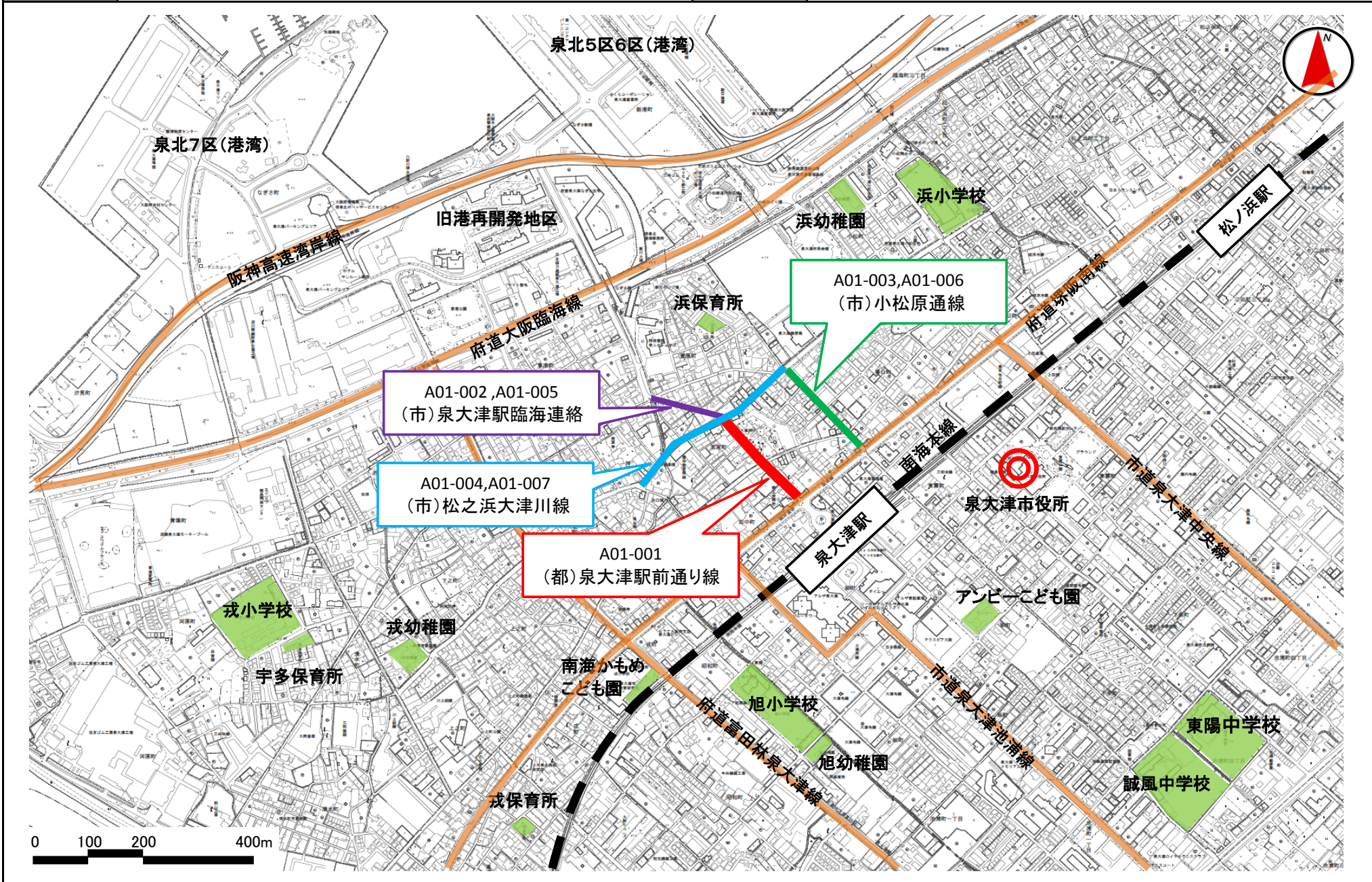
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31		
配分額 (a)	3	29	10		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	3	29	10		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	12		
支払済額 (e)	3	17	22		
翌年度繰越額 (f)	0	12	0		
うち未契約繰越額(g)	0	12	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	41.37	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		用地買収において、境界の確定に不測の日数を要したため			

参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	泉大津駅西地区における安全・安心なまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)	交付対象	泉大津市





## 事前評価チェックシート

計画の名称： 泉大津駅西地区における安全・安心なまちづくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 事業効果が期待できる。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について、住民との間で合意が形成されている。	○